

暮らしの、新たな原動力へ。



2026年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

目次

I. 2026年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

II. 2026年3月期 業績予想

III. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

IV. 参考資料

I . 2026年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

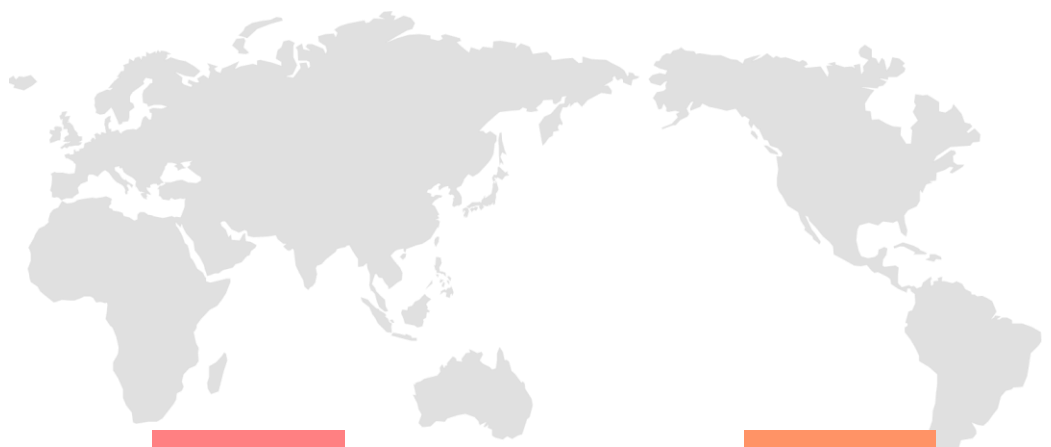
2026年3月期第2四半期（中間期） 決算ハイライト

（単位：百万円、％）

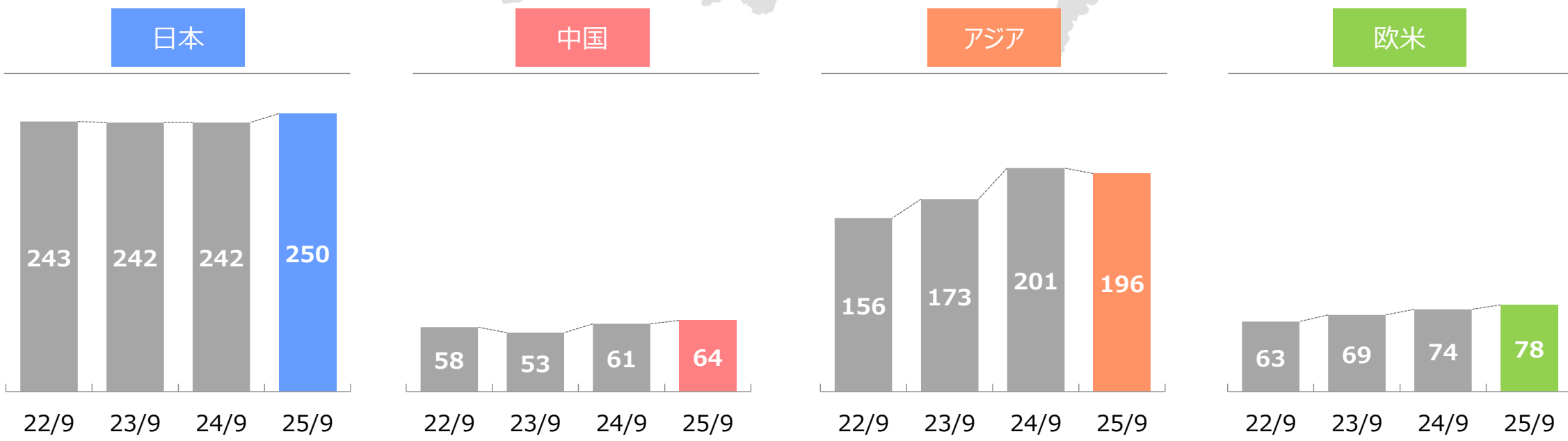
	2024/9	2025/9		2026/3	
	実績	実績	前期比	業績予想値 (2025/11/7修正)	達成率 (対業績予想値)
売上収益	58,098	59,094	+995	117,000	50.5%
コア営業利益	4,106	4,463	+356	8,200	54.4%
営業利益	5,048	6,569	+1,521	10,500	62.6%
親会社の所有者に 帰属する中間利益	3,297	4,819	+1,521	7,400	65.1%
USD	152.46	146.04	-	145.00	-
為替レート THB	4.30	4.46	-	4.40	-
人民元	21.22	20.34	-	20.00	-

- 売上収益は為替が円高に推移したものの、現地通貨ベースで堅調に推移したことにより増加
- 前年度に発生した当社加古川工場における電災事故に係る受取保険金（1,524百万円）の計上により、営業利益および親会社の所有者に帰属する中間利益は増加

2026年3月期第2四半期（中間期） 所在地別売上収益



(単位：億円)

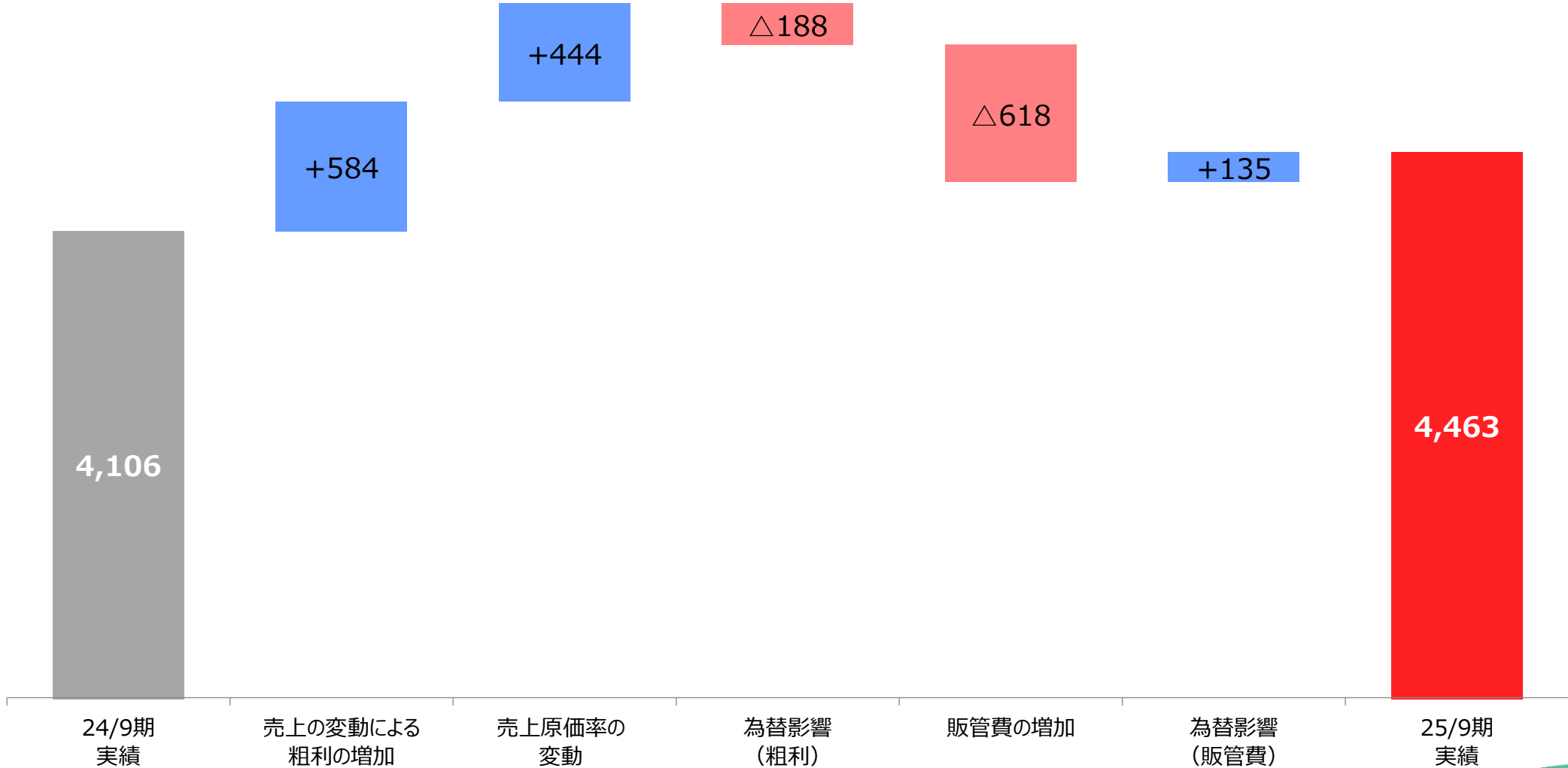


(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

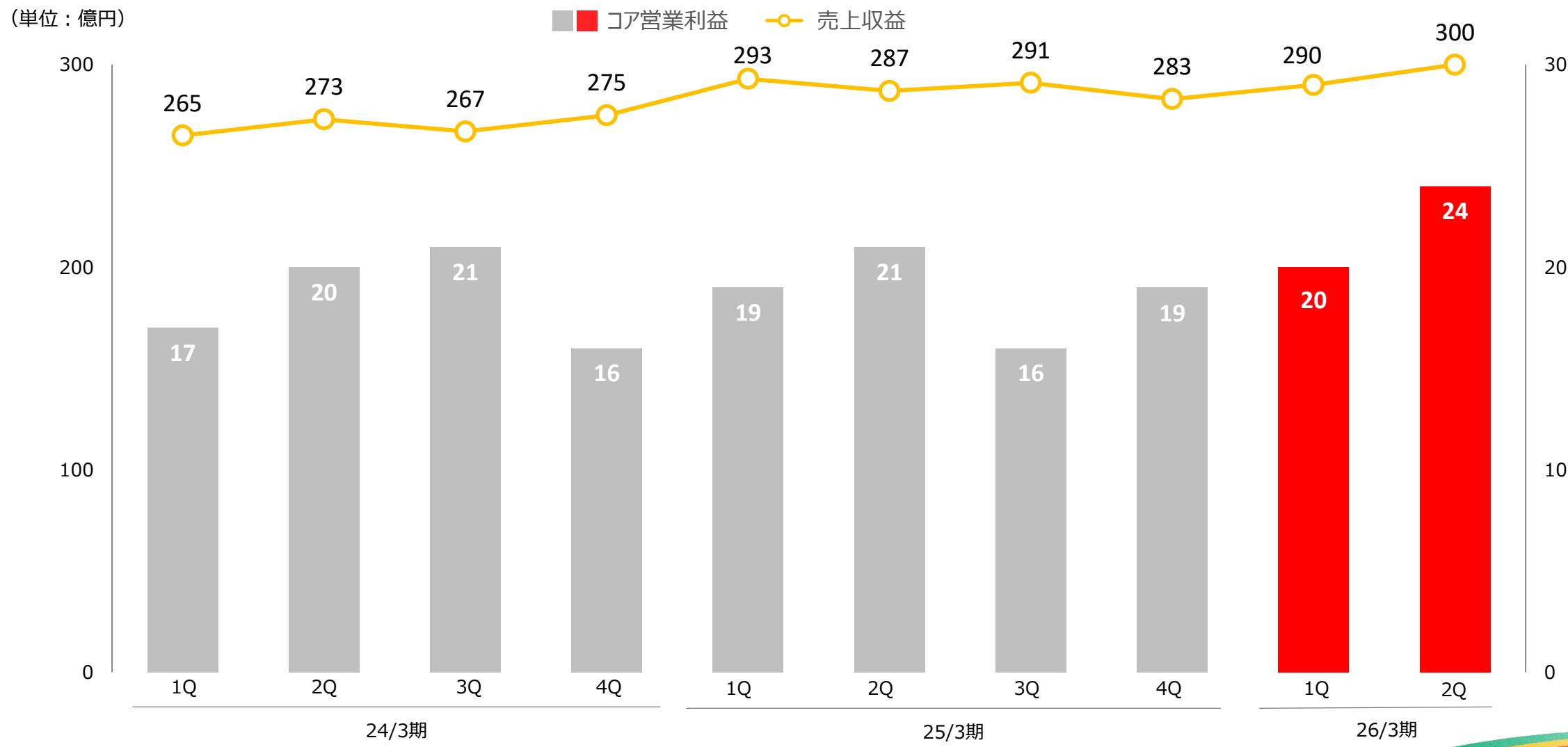


2026年3月期第2四半期（中間期） 連結コア営業利益 増減分析

(単位：百万円)



四半期推移（売上収益/コア営業利益）



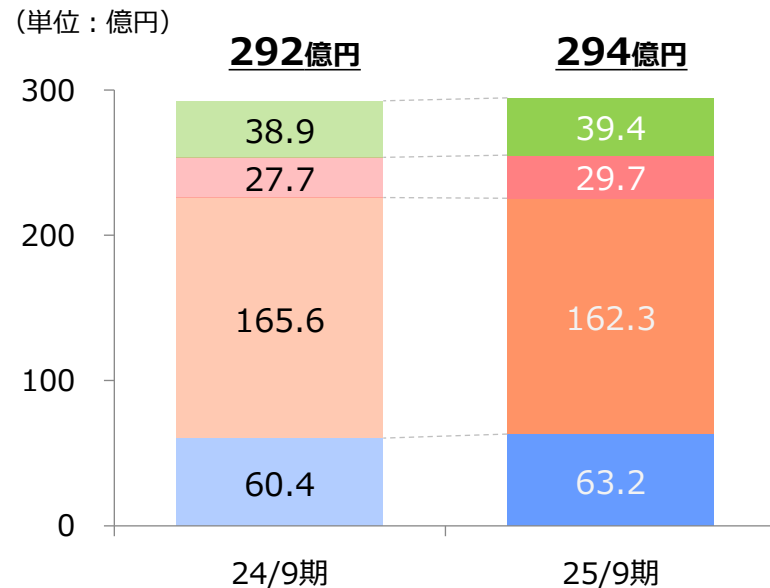
2026年3月期第2四半期（中間期） セグメントの状況

(単位：百万円、%)

	2024/9	2025/9		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	58,098	59,094	+995	+1.7%
自動車部品事業	29,257	29,481	+223	+0.8%
産業資材事業	19,267	19,731	+463	+2.4%
高機能エラストマー製品事業	7,070	7,118	+48	+0.7%
その他	2,917	3,151	+233	+8.0%
セグメント間消去	△414	△389	+25	-
コア営業利益	4,106	4,463	+356	+8.7%
自動車部品事業	2,470	2,432	△38	△1.6%
産業資材事業	1,348	1,672	+323	+24.0%
高機能エラストマー製品事業	△11	140	+152	-
その他	164	81	△82	△50.1%
セグメント間消去等	134	136	+1	+1.1%

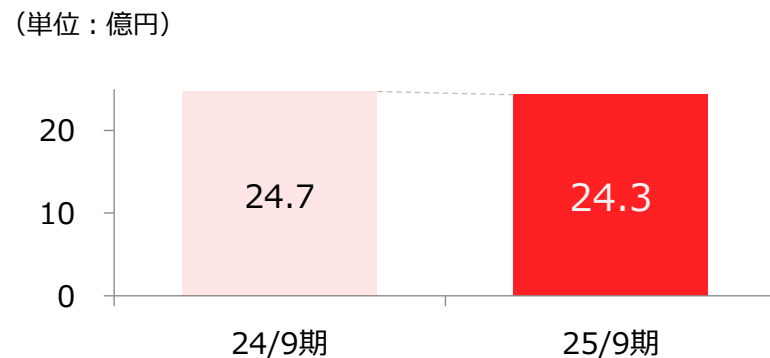
自動車部品事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+1.3%	■ 補修市場向け製品の販売が増加。
中国	+7.6%	■ スクーター用変速ベルトの販売が増加。
アジア	△1.9%	■ スクーター用変速ベルトなどの販売が増加するも、補機駆動用伝動システム製品（オートテンショナなど）の販売が減少。
日本	+4.7%	■ 自動車生産台数が減少するも、当社製品採用車種の増加により、補機駆動用伝動ベルト（リブエース®など）の販売が増加。

コア営業利益

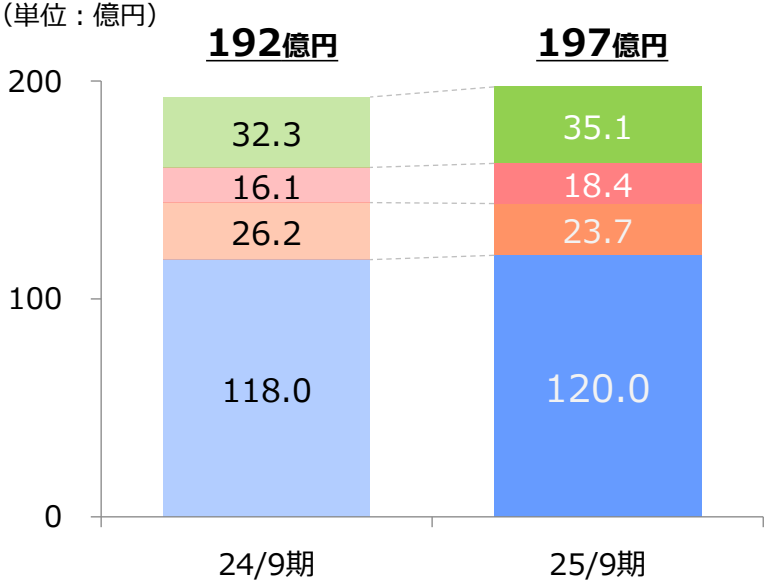


コア営業利益	△1.6%	■ 販売は増加するも、製品構成の変化などにより、利益が減少。
--------	-------	--------------------------------

(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

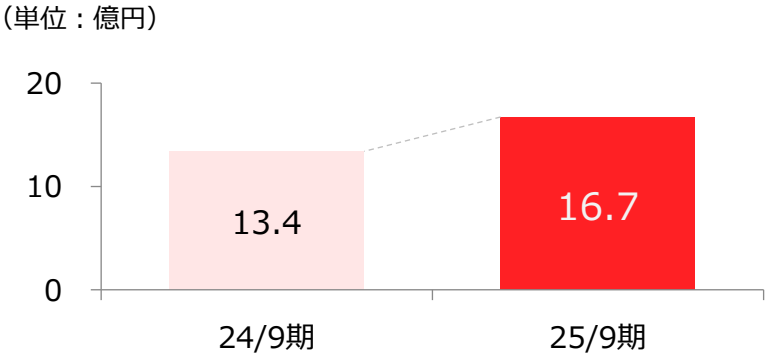
産業資材事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+8.7%	産業機械用伝動ベルトの販売が増加。
中国	+14.2%	農業機械用伝動ベルトの販売が増加。
アジア	△9.3%	農業機械用伝動ベルトの販売が減少。
日本	+1.7%	産業機械用伝動ベルトの販売が前年並みに推移。 コンベヤベルトおよび樹脂コンベヤベルト（サンライン®ベルト）の販売が増加。

コア営業利益

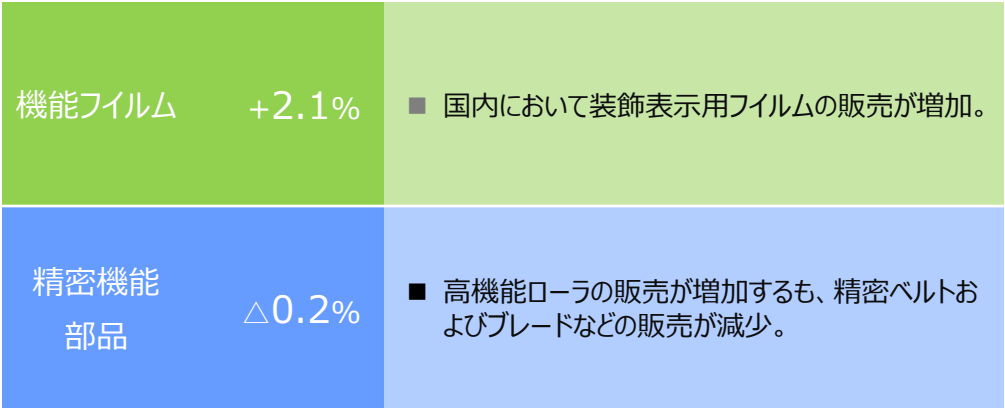
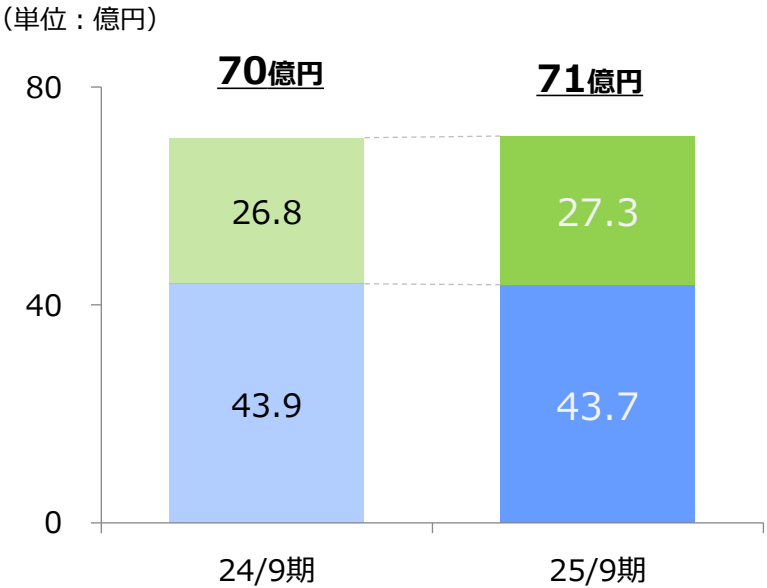


コア営業利益	+24.0%	販売の増加により、利益が増加。
--------	--------	-----------------

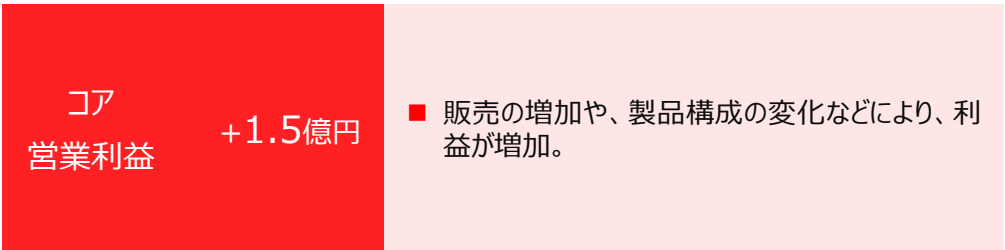
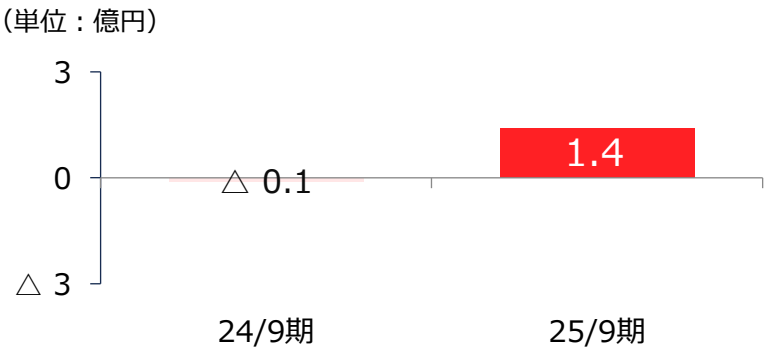
(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

高機能エラストマー製品事業 概要

製品別売上収益



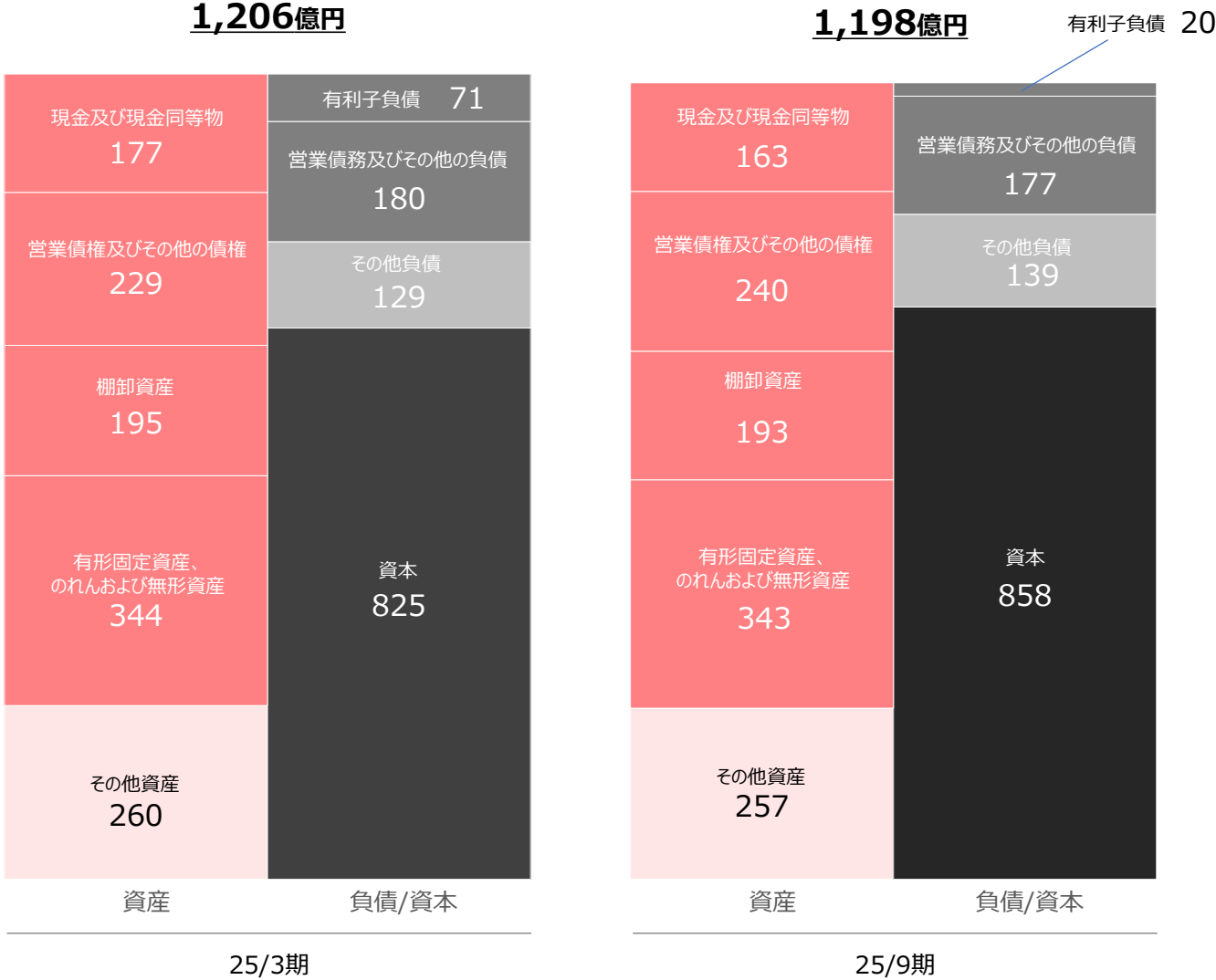
コア営業利益



(注)製品別売上収益はセグメント間取引消去後。

連結財政状態計算書

(単位：億円)



Ⅱ． 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

		2025/3	2026/3			
		実績	修正前	修正後	前期比（修正後ベース）	
売上収益		115,593	115,000	117,000	+1,406	+1.2%
コア営業利益		7,743	8,200	8,200	+456	+5.9%
営業利益		3,480	9,500	10,500	+7,019	+201.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益		1,496	6,700	7,400	+5,903	+394.5%
為替レート	U S D	152.57	140.00	145.00	-	-
	T H B	4.40	4.00	4.40	-	-
	人 民 元	21.13	19.50	20.00	-	-

- 売上収益は、現地通貨ベースで堅調に推移していることに加え、想定為替レートの見直しによる増加影響を受けることから、前回発表した業績予想を上回る見込み
- 営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、持分法投資損益の減少を見込むものの、当社加古川工場における電災事故に対する受取保険金を計上したこと等により、前回発表した業績予想を上回る見込み

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

中長計(Creating New Value for the Future)の全体像

FY2023 ← CV-1 → FY2026 FY2027 ← CV-2 → FY2030 FY2050

人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER

『Creating New Value for the Future』

ビジョン

共創 新規事業
コア事業

中長期戦略

指針1

価値創造

「共創」を軸に新規事業の進化とコア事業の深化を加速

指針2

スマートものづくり創造

バンドー夢工場への布石

指針3

未来に向けた組織能力の進化

進化を支える土壌づくり

価値創造

最適な事業ポートフォリオへ

夢工場モデルラインの実現

安全・安心で地球環境にやさしいものづくり

未来に向けた組織能力の進化

進化が連続的に起こっている

バンドー夢工場のグローバル展開

圧倒的競争優位の実現

中長期目標

売上収益

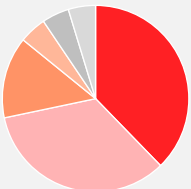
1,200億円

コア営業利益

120億円

R O E

12%

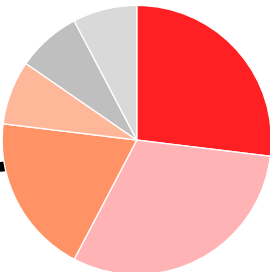


非財務指標

CO₂排出量 38%削減 (2013年度比)

カーボンニュートラルを実現する

持続的成長へ



資本コスト・株価を意識した経営に向けた取り組み

2023年11月に「企業価値（株式価値）の向上に向けて」を公表し、各種取り組みを実施

目標

2027年3月期までにROE12%を達成

- ・ 株主資本コスト（CAPMベース）は8%程度
- ・ 業績の向上および株価の上昇により、足元のPBRは1倍に近づきつつあるものの、ROE目標は未達の状況
- ・ 引き続き収益力の強化および資本効率の向上により、ROE目標達成を目指す

方針

中計(CV-1)に基づき、収益力の強化と資本効率の向上の両輪で臨む

収益力の強化

- ・ 将来を見据えた事業ポートフォリオ変革の実施
- ・ 事業の収益性・成長性に基づき投資を選別
例) 再構築事業：原則として投資抑制、コア事業：稼ぐ商品に投資を配分、新規事業：事業拡大に向けて積極的に投資を配分
- ・ 高い品質と稼ぐ力を両立するものづくりの実現：デジタル化、最適生産・最適調達

資本効率の向上

- ・ 株主還元方針の変更などのB/Sマネジメント

企業価値（株式価値）の向上に向けた現状分析

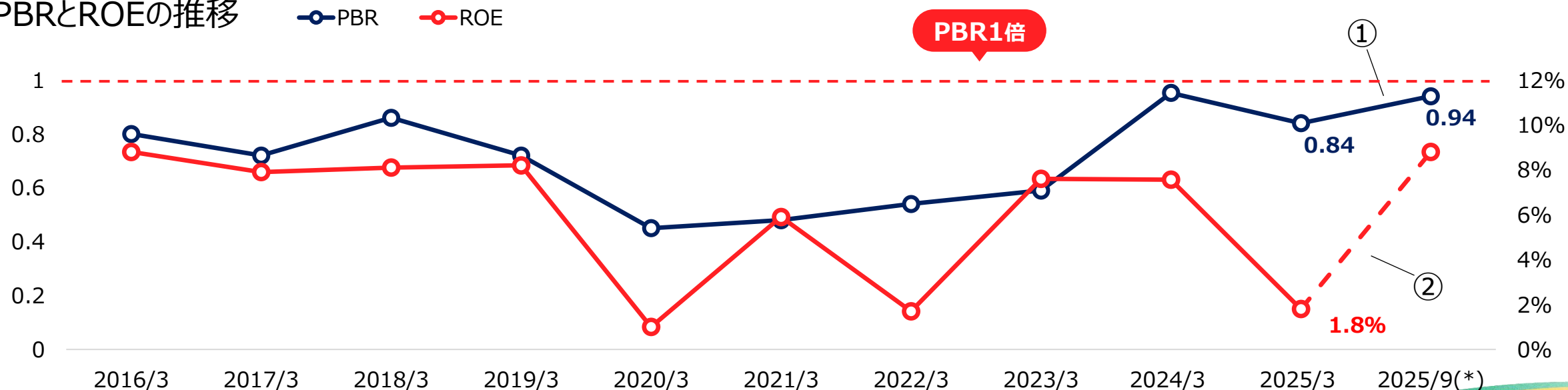
現状

- ① 業績の向上および株価の上昇により、足元のPBRは1倍に近づきつつある
- ② ROEは減損損失等の影響により一時的に下落したものの、それらの一過性要因による影響を除くと実質的には上昇傾向にある

今後の取り組み

PBRの更なる改善に向けて、
・収益力の強化
・資本効率の向上
により、ROEの向上を図る

PBRとROEの推移



* 2025年9月期のROEは、修正後の2026年3月期通期業績予想に基づいて算定

収益力の強化に向けた取り組みの進捗状況

自動車部品事業

- ・ 電動化対応製品、環境規制対応製品の拡充
- ・ グローバルアフターマーケットへの拡販、パーソナルモビリティ市場への事業拡大



産業資材事業

- ・ 顧客ニーズに沿った新製品の投入
- ・ 農機用ベルト、軽搬送用ベルトおよびシンクロベルトの重点市場での拡販や成長市場への参入とシェア拡大



高機能エラストマー製品事業

- ・ ウレタンベルトの拡販
- ・ 環境対応や意匠性などに優れるフィルム製品の拡販



新規事業

- ・ 電子資材事業では光学用透明粘着剤シート「Free Crystal®」や高熱伝導シート「HEATEX®」などで引き合いが増加
- ・ 医療機器・ヘルスケア機器事業では伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®」を活用した製品や吸収性骨再生用材料「e=Bone®」の販売が拡大



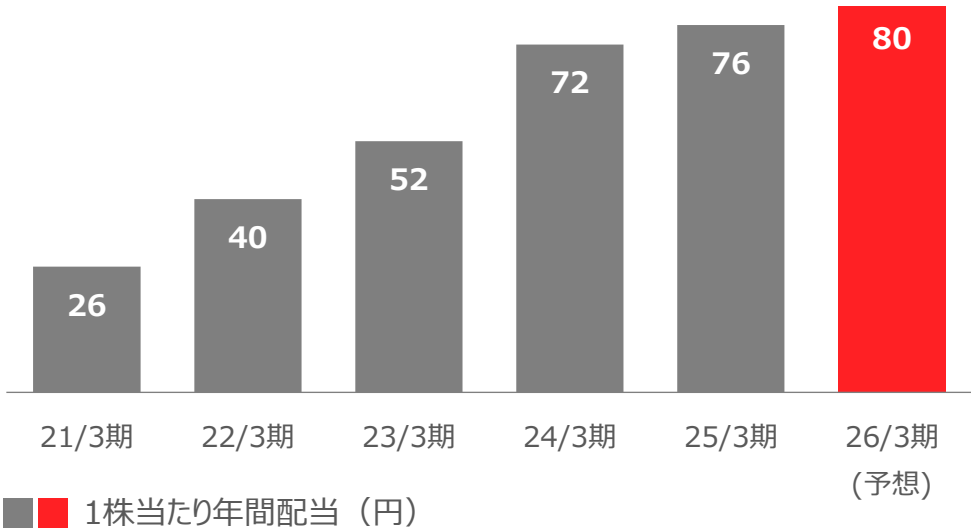
資本効率の向上

- 今期の1株当たり年間配当金は**80円**
（前年度比**+4円**）を見込む
- 市場買い付けによる**自己株式の取得**を実施中

取得株式数	180万株（上限）
取得金額	20億円（上限）
取得期間	2025年5月16日 ～2026年4月30日

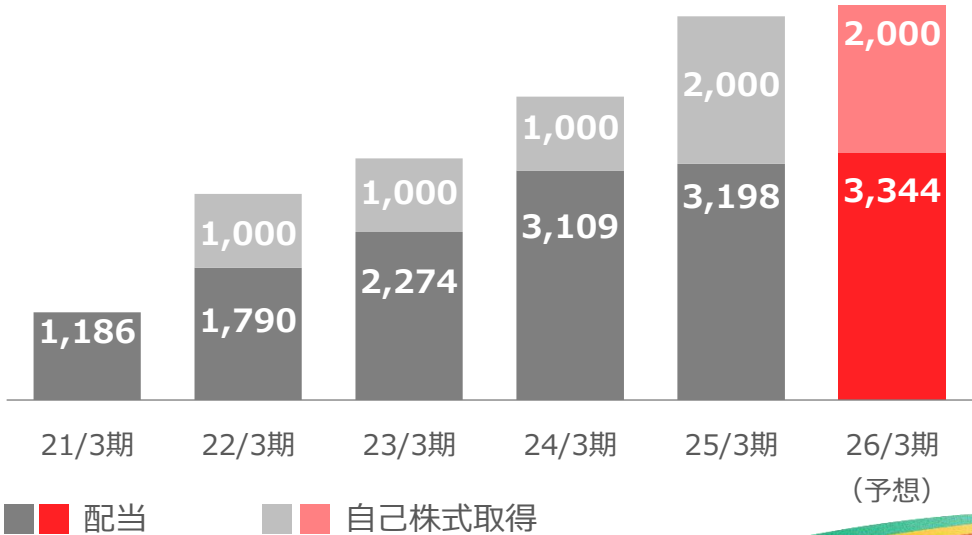
1株当たり年間配当の推移

（単位：円）



株主総還元額の推移

（単位：百万円）

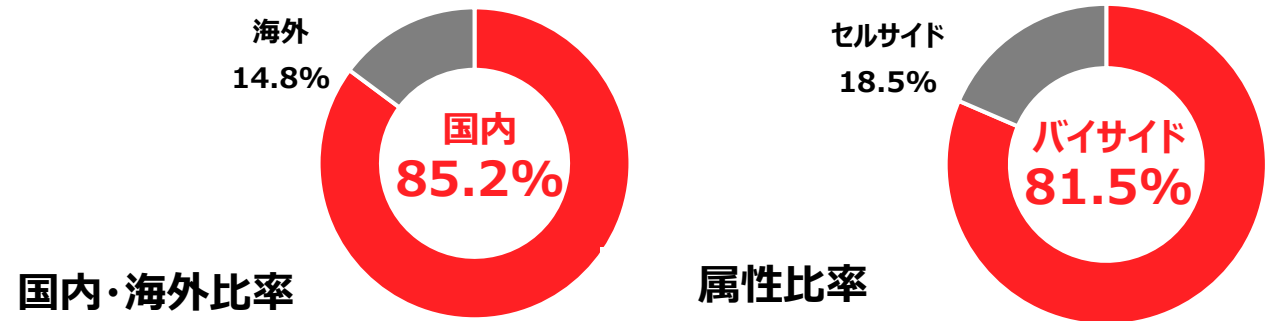


（注）従業員持株ESOP信託および役員報酬
BIP信託への支払配当控除後

対話状況

機関投資家、アナリストとの個別面談や説明会を実施

対話を行った株主・投資家の概要
(2024年度実績)



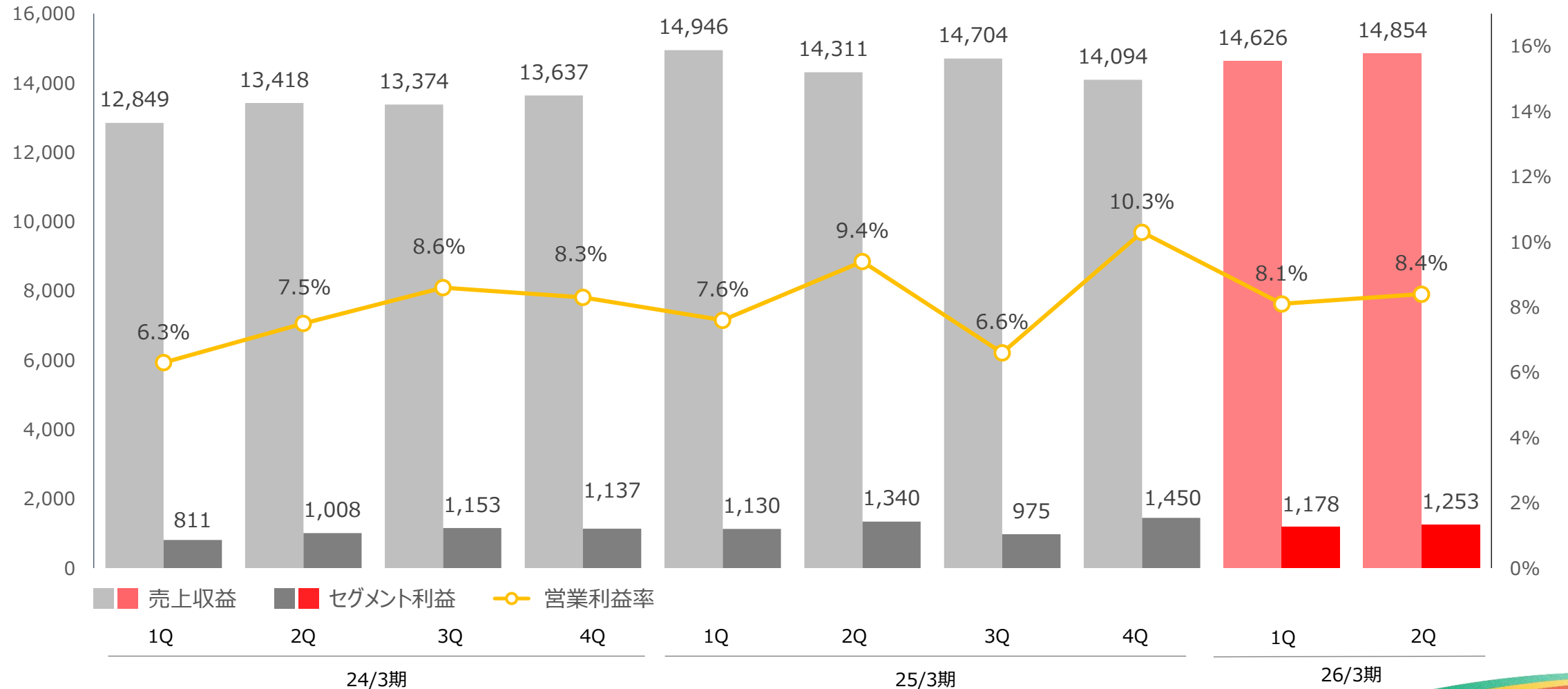
対話の主なテーマ・関心事項

- 中長期経営計画の成長ドライバー
- 新規事業や電動化対応製品等の進捗状況
- 外部との共創の状況（M&A、スタートアップ企業への出資等）
- 再構築事業の取り組みやその成果
- 米国関税政策による影響と対策

IV. 参考資料

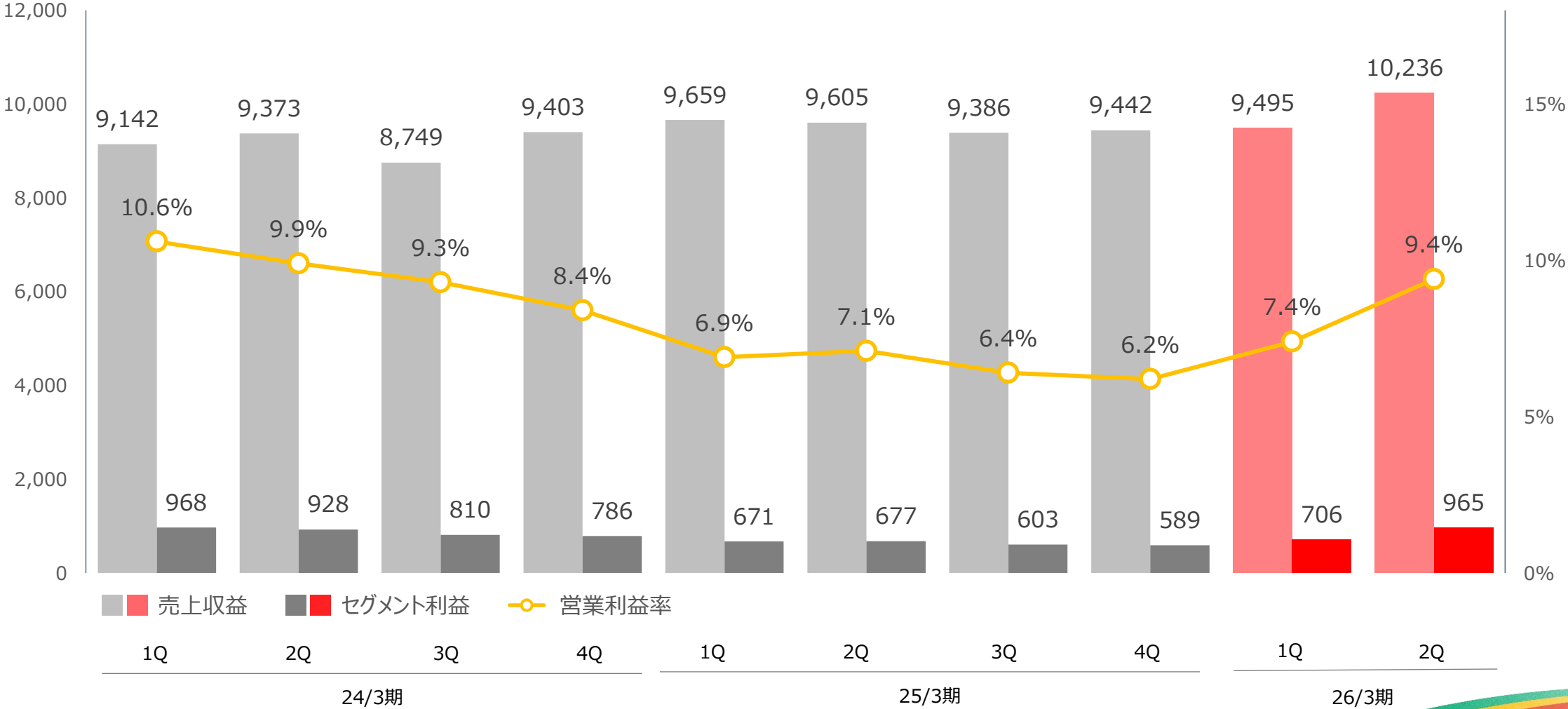
自動車部品事業 四半期推移

(単位：百万円)

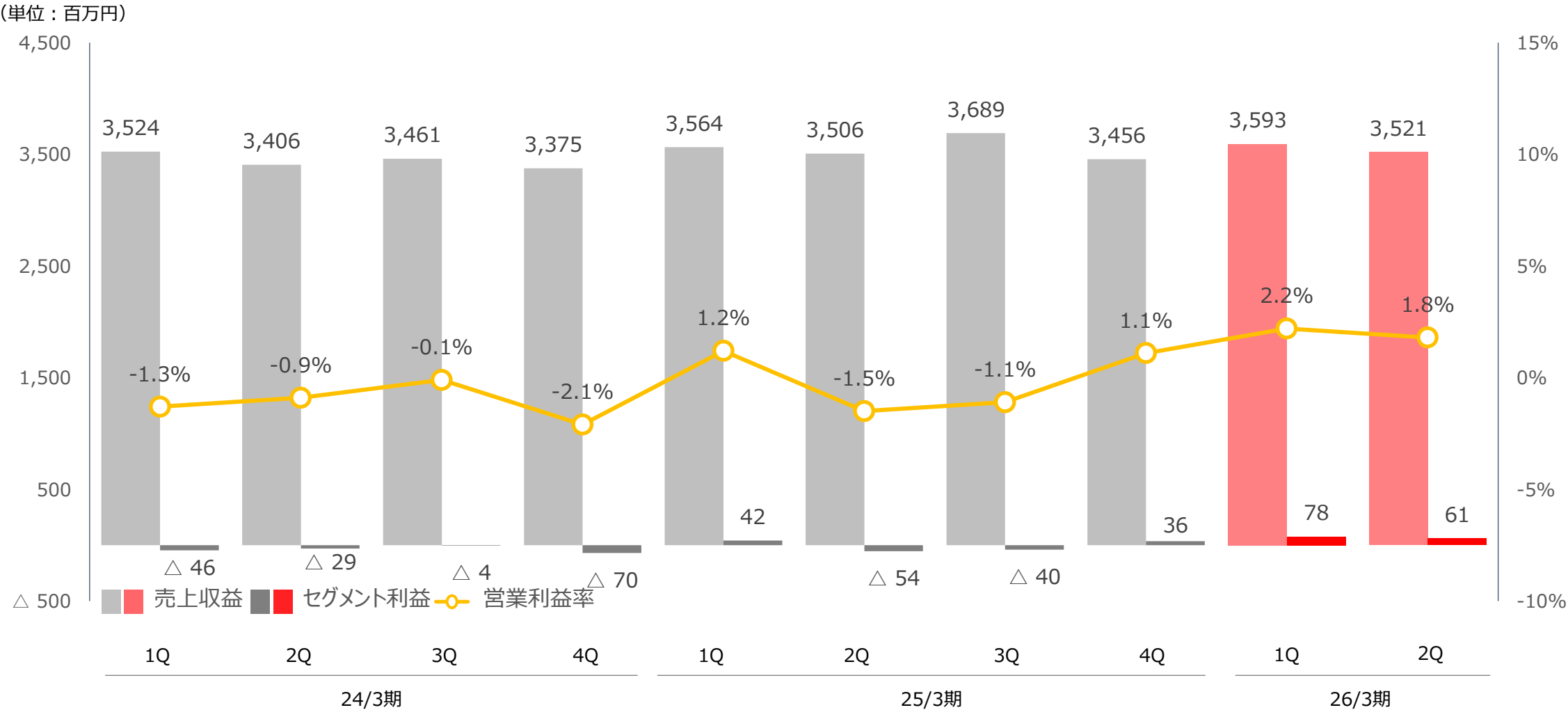


産業資材事業 四半期推移

(単位：百万円)



高機能エラストマー製品事業 四半期推移



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。